

〈中国支部〉
**地域と共に発展する「環境に優しい
 大学」を目指す山口県立大学の取組**

山口県立大学は、国・公立大学で初めてエコアクション21(EA21)認証を取得し、学生および教職員が一体となり環境に配慮した行動ができることを目指して、学生主体の環境マネジメントシステムを構築し運用している。

- 一、EA21認証取得のきっかけ
- (一) 基礎教養科目で「環境マネジメント論」が開講され、一年生の八割が受講していた。
- (二) ゴミの分別収集などは構成員全員(学生・教職員)で取り組んでいた。
- (三) 数年前より学内において国際規格のISO14001取得のための検討がされていた。

- 二、EA21の選択の経緯(ISO14001との比較)
- (一) 取組項目が絞られ、ガイドラインも示されている。
- (二) ISOをベースに環境省が策定した制度で、内容的に

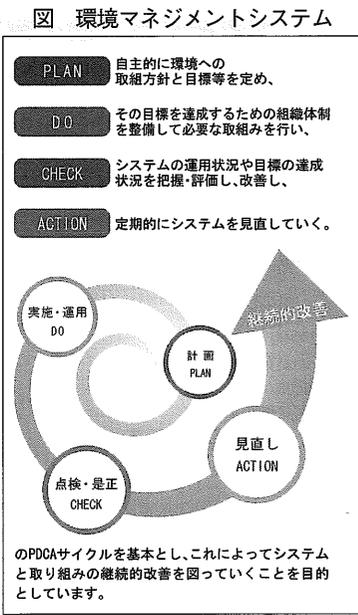
- はISOと遜色がない。
- (三) 維持経費が安価(ISOと比べ五分の一〜十分の一)である。

- 三、EA21認証取得の目的
- (一) 環境教育を現代的な基礎教育と位置付け、環境に配慮した行動ができる人材を育成する。
- (二) 環境に配慮した行動を通して学生の主体性を尊重した魅力ある大学づくりの実現を目指す。
- (三) 地域の教育機関の環境活動への支援体制の整備を行う。

- 四、EA21認証取得のための目標
- (一) 目標取組期間 平成一八〜二〇年度(三年間の目標)
- (二) 主な環境目標(平成二〇年度)
 - ・電力消費量一〇%削減
 - ・水使用量二%削減
 - ・ゴミ排出量一〇%減量
 - ・全学的な環境教育の実施

五、環境マネジメントシステムの概要
 山口県立大学における環境マネジメントシステムは、事業活動に伴い発生する環境への負荷となる資源、エネルギー

使用量、廃棄物排出量等を減らすとともに、すべての行動の基盤に「環境マインド」を持った「地球市民」として行動できる人材を社会に送り出し、持続可能な社会を作っていくために、次のことを実施する(図)。



六、山口県立大学の環境マネジメントシステムの特徴

- (一) 学生・教職員一体となった実施・運用体制である。
 - 全学の管理組織にEA21のまとめ役としてEA21事務局を置き、構成員は、総務部長、EA21推進班(教職員)、EA21学生委員会となっている。
 - EA21学生委員会は、環境マネジメントシステムを實行、推進するため主に次の活動をしている。

- EA21の運用状況の把握と監視を行う。
- EA21推進班(教職員)と連携し環境活動を行う。
- 教職員及び学生に対して環境教育を実施する。
- (二) 地域の環境活動としての取組



学生委員に対する審査の様子

大学の地域貢献活動の一つとして地域の小・中・高校へ向けた環境教育活動および中小企業のEA21認証取得をサポートするため、「NPO法人環境奇兵隊」を立ち上げた。今後、地域へ向けて、積極的な環境教育活動および環境マネジメントシステム構築支援活動を行っていく計画である。

七、環境マネジメントシステムの今後の取組
 山口県立大学では、平成一九(二〇〇七)年四月に学部の改組再編を行う予定である。改編後も、「環境教育・研究の推進」を全学(構成員全体)で継続的に取り組むことによりさらに進化させていくとのことであった。